



山口 光彦

昭和50年代半ば通産省と長野県が地域経済の活性化を図るため、オピニオンリーダーの育成を目的に異業種交流活動を立ち上げる計画を発表した。掌管の長野県工業課長の山口光彦氏は、その第一号モデル事業を長野市で行うため、すでに地域のリーダーであった小林俊雄氏、平野稔氏、竹村猛志氏らに主旨を説明し会員選考の依頼をした。その結果12社12名の賛同を得、昭和56年(1981)4月長野市中御所の長野県中小企業総合指導所で設立総会が挙行され、ここに「**地域商業文化を創造する会**」が誕生した。